

# アカルボース錠を服用される患者さまへ

食後の過血糖を改善する糖尿病のくすりが処方されています。以下の点にご注意ください。

|                     |                                                                                   |                      |                                                                                   |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| アカルボース錠<br>50mg「YD」 |  | アカルボース錠<br>100mg「YD」 |  |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|

## (1)この薬は食事の直前にお飲みください。

ごはんやパン等の食べ物とまざりあって効くくすりですので、**食事の直前**にお飲みください。もし食事前に飲み忘れたときには食事中にお飲みください。食後または空腹時にお飲みになると効果がおちます。

## (2)低血糖症を起こすことがあります。

このくすりと他の糖尿病のくすりを併用した場合に、危険な低血糖症を起こすことがあります。

このくすりは砂糖の消化や吸収を遅らせます。万が一、低血糖症状を感じた場合には他の糖尿病のくすりによる低血糖症に効果のある**砂糖や飴玉はこのくすりをお飲みの時は効果が不十分です。必ずブドウ糖(約10g)をとってください。**

また、低血糖がおこったときには、主治医にご相談ください。なお、低血糖がおこっていることをご本人が気づかなかったり、わからなかったりすることがありますので、ご家族やまわりの方にも低血糖になった時の対処方法(ブドウ糖の服用)と医師への連絡を頼っておきましょう。

### 低血糖の症状及び特徴

血液中の糖分が少なくなった危険な状態です。強い空腹感、脱力感、手指のふるえ、冷汗、動悸、体のだるさ、生あくび、眼の焦点が合わない、頭重感、考えがまとまらない、おかしい行動、性格の変化が現れることもあります。ひどい場合には、意識が無くなる事もあります。



(裏面も必ずお読みください)

低血糖症状は個人によって症状の出方が違い、同じ人では、だいたい決まっていますので、自分の低血糖の症状の特徴を知っておくことが大切です。これらの症状は血糖を上げることにより速やかに消失します。

### (3) 肝臓の機能への影響について

肝臓の機能の悪化防止には、早期発見と適切な対処が必要です。次の症状があらわれた場合は、必ず主治医にご報告ください。

#### 肝機能障害の症状

全身がだるい、食欲がない、吐き気がする、皮膚や目が黄色くなる、褐色尿、体がかゆい、発疹、発熱などの症状があらわれることがあります。



体のだるさ



吐き気

### (4) 腹部の症状について

このお薬を飲み始めたときには、**おなかが張ったりおならの回数が増えることがあります**。飲み続けるうちにそのような不快な症状は改善することが多いのですが、症状が強い、腹痛を伴うなど特に気になる場合は主治医または薬剤師にご相談ください。

### (5) このお薬は主治医の指示に従いお飲みください。

その他、気になる症状があらわれた場合には主治医または薬剤師にご相談ください。

製造販売元



株式会社 陽進堂

富山県富山市婦中町萩島3697番地8号

販売元

第一三共エスファ株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

販売提携



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

EPACA1P00201-1

2016年12月作成